

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
<p>[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心身科学研究科においては心理学専攻、健康科学専攻の2つの専攻があり、それぞれの分野の先端的領域の研究者、あるいは高度な専門職業人の育成を目的として人材の養成・教育研究上の目的を設定している。また、その内容は適切である(根拠資料1-1心研)。</p> <p>(2)心身科学研究科は、愛知学院大学の理念である「行学一体・報恩感謝」の精神に則り、人間探求を心身の2方向、すなわち心理学的視点と身体的視点から実践している。大学の理念・目的と研究科の目的は密接に連している(根拠資料1-2心研)。</p>				
<p>[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
1-1心研	愛知学院大学大学院 各研究科の「人材の養成・教育研究上の目的」(大学院要項抜粋)			
1-2心研	「建学の精神「行学一体・報恩感謝」・教育理念」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/ideal.html 】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
<p>[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心身科学研究科の心理学専攻、健康科学専攻の2つの専攻の人材の養成・教育研究上の目的を、「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。</p> <p>(2)愛知学院大学の理念・目的、および同心身科学研究科の目的については、「愛知学院大学大学院学則(根拠資料1-3心研)」および愛知学院大学大学院 各研究科の「人材の養成・教育研究上の目的」を大学院要項に掲載し(根拠資料1-1心研)、教職員及び学生に周知するとともに大学のウェブサイト上で公開し、社会に対して公表している。</p>				
<p>[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
1-1心研	愛知学院大学大学院 各研究科の「人材の養成・教育研究上の目的」(大学院要項抜粋)			
1-3心研	愛知学院大学大学院学則(大学院要項抜粋)			
1-4心研	愛知学院大学各研究科の「人材の養成・教育研究上の目的」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/ 】			
1-5心研	愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>2020年6月29日に第1回、7月25日に第2回心身科学研究科自己点検・自己評価委員会を開催した(COVID-19のため大学が会議を自粛しており、メール会議による開催)。学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した学修成果と学修成果の測定方法及び達成目標の関係表を作成した。教育課程の内容、方法等の改善については、GPA、中間発表会を開催し、適切な評価と指導を行っている。授業時間外学習の習慣化、促進等に向けた、授業時間外の学習を促す方策については、資格取得のための科目については、その科目の必要性、資格取得後にどのような世界が開けるか等を理解させること、社会人大学院生については、ICTを用いた遠隔教育による双方向講義を始めており、今後、その有用性についてフィードバックを行うこととなった。(根拠資料2-1心研,2-2心研)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
2-1 心研	2020年度第1回心身科学研究科自己点検・自己評価委員会議事録			
2-2 心研	2020年度第2回心身科学研究科自己点検・自己評価委員会議事録			

2. 長所・特色

<p>有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

<p>理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準2」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科心理学専攻および健康科学専攻の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)については大学ホームページ及び大学院要項に明示されている(4-1心研、4-2心研、4-3心研)。当該学位にふさわしい学習成果の項目と基準については⑥に示したとおりである。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-1 心研	ディプロマ・ポリシー(博士前期課程)【 http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma02.pdf 】			
4-2 心研	ディプロマ・ポリシー(博士後期課程)【 http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma03.pdf 】			
4-3 心研	愛知学院大学大学院 3つのポリシー(大学院要項抜粋)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な関連性がありますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科心理学専攻および健康科学専攻の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)については大学ホームページ及び大学院要項において公表されている(4-3心研、4-4心研、4-5心研)。また、個々の教育課程の体系、教育内容および授業科目区分と授業形態等については愛知学院大学大学院要項大学院学則の別表2-I, II(根拠資料4-6心研)にて公表されている。</p> <p>(2) 学位授与方針には身につけるべき能力を具体的に示しており、教育課程の編成・実施方針と学位授与方針は連動しており、適切な関連性が存在する。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-3 心研	愛知学院大学大学院 3つのポリシー(大学院要項抜粋)			
4-4 心研	カリキュラム・ポリシー(博士前期課程)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum02.pdf 】			
4-5 心研	カリキュラム・ポリシー(博士後期課程)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum03.pdf 】			
4-6 心研	愛知学院大学大学院学則(大学院要項抜粋)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 心身科学研究科においては教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性をとったカリキュラムが作成されている。 (2) 心身科学研究科においては教育課程の編成にあたり、その順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけに配慮している。 (3) 心身科学研究科においては教育課程の編成・実施方針をふまえて個々の授業科目の内容と方法を決定している。 (4) 心身科学研究科においては主に講義と実習によるコースワークと、専修科目(心理学専攻)、専攻科目(健康科学専攻)担当の指導教員による演習、すなわち研究指導が適切に組み合わせられて教育が行われている。(根拠資料4-6心研の別表2-I, II) (5) 心身科学研究科においては講義科目や演習科目のみならず、各分野の実習科目を設けている。これは学生の社会的および職業的自立を目的とし、高度な専門職業人の育成を行うものである。(根拠資料4-6心研の別表2-I, II)				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-6 心研 愛知学院大学大学院学則(大学院要項抜粋)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)シラバスに授業外の学習(予習・復習)についての記載があり、質疑応答の方法についても明記している。また、心身科学研究科においては、授業時間外に必要な学習、特に学位論文作成に必要な論文購読、学会発表等が指導されている。</p> <p>(2)心身科学研究科のシラバスについては大学のウェブキャンパスにおいて公開されており、科目のねらい、到達目標、授業の内容・計画、評価方法・基準、授業外の学修等が明示されている(根拠資料4-7心研)。シラバスの内容が専門的であり、当該分野の研究者以外による評価は困難であるため、研究科の専任教員相互による第三者チェックを行っている。2021年1月27日(水)開催の心身科学研究科委員会において、2020年度シラバスの第三者チェックの方法について審議、承認した(根拠資料4-8心研)。シラバスの内容は適切であり、授業内容とシラバスには整合性がある。</p> <p>(3)心身科学研究科の博士前期課程および後期課程ともに実習科目を設けることで学生の主体的参加を促している。(根拠資料4-6心研の別表2-I, II)</p> <p>(4)心身科学研究科においては大学院要項の愛知学院大学大学院 研究指導計画書(根拠資料4-9心研)により年間スケジュールを明示し、それに基づいて研究指導を行っている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-6 心研	愛知学院大学大学院学則(大学院要項抜粋)□			
4-7 心研	Web Campus III ウェブサイト【 https://wcs.agu.ac.jp/campus/slbsshjr.do 】			
4-8 心研	2020年度1月心身科学研究科委員会議事録			
4-9 心研	大学院要項 研究指導計画書【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/graduate_yoko02.pdf 】			

点検・評価項目		評価の視点	自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3) 卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4) <修士課程・博士課程> 学位論文審査基準を明示していますか。	A
		(5) 学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6) 適切に学位授与を行っていますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科においては、単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っている。単位認定については大学院学則(根拠資料4-6心研、第4章の第6条(p2))に明示されている。既修得単位の認定については、同じく大学院学則(第4章の第8条(p2))に明示されている。</p> <p>(2) 心身科学研究科の成績評価については、履修科目の専門性に鑑み、コース別、領域別のグループ教員により合議制にて行うことで客観性、厳格性を担保している。</p> <p>(3) 心身科学研究科の卒業、修了要件については、大学院学則(根拠資料4-6心研)に明示されている。</p> <p>(4) 学位論文審査基準については、大学院要項(根拠資料4-10心研)に明示されている。</p> <p>(5) 心身科学研究科の学位審査、特に学位論文審査については、大学学位規則等(根拠資料4-11心研)に明示されている。修士論文審査には主査と当該分野の2名の副査により最終試験を行い、その結果は心身科学研究科委員会で承認をうけている。博士論文審査については候補者資格検定試験にて外国語の読解力等を確認するとともに、研究科会議で承認された研究科の委員3名以上の審査委員会により最終試験を行い、心身科学研究科委員会で審査結果の報告、承認をうけている。なお、愛知学院大学大学院博士学位審査に係る学外審査委員についての申し合わせ(根拠資料4-11心研p55)にあるように学外審査員を積極的に登用しており、複数の大学院専任教員による審査を行うことで客観性、厳格性を確保している。</p> <p>(6) 上記に記載したとおり、心身科学研究科における学位授与は適切に行われている。</p>			
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>			
根拠資料名			
4-6心研	愛知学院大学大学院学則(大学院要項抜粋)		
4-10心研	学位論文審査他(大学院要項抜粋)		
4-11心研	愛知学院大学学位規則(大学院要項抜粋)		

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 <<学習成果の測定方法例>> ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科の博士前期課程および博士後期課程の学位授与方針(根拠資料4-1心研および根拠資料4-2心研)の測定については以下のように多角的で適切な指標設定を行い、明示している。1) 心理学専攻の博士前期課程においては、研究テーマ、情報収集、研究方法、倫理的配慮の適切性、論旨の妥当性、博士後期課程においては、これらに加えて当該学問分野における研究の発展性も指標としている。2) 健康科学専攻の博士前期課程においては、専門領域(スポーツ科学、栄養学、精神保健学、健康教育学、言語聴覚学)に応じた高度な専門性を要求される職業を担うことができる知識、能力、倫理、責任感を身につけていること。博士後期課程については、独自のテーマについて新規性、発展性のある知見を公表することにより社会に貢献する能力をもつこと。および高度な専門性を要求される職業を担うことができる知識、能力、倫理、責任感を身につけていること。学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した学習成果を把握、評価するための具体的な指標として大学院要項の「愛知学院大学大学院学位論文審査基準」に博士前期課程の場合7つの指標、博士後期課程の場合8つの指標を設定している。</p> <p>(2) 心身科学研究科においては博士前期課程および博士後期課程の学習成果の把握および評価が行われている。1) 心理学専攻においては、希望する大学院生が研究内容を発表し、出席教員が様々なアドバイスを与えている(根拠資料4-12心研)。2) 健康科学専攻は博士前期課程および博士後期課程学生全員参加の研究発表セミナーを年1回開催し、複数の大学院専任教員による研究の進捗状況に対する評価と指導を行っている(根拠資料4-13心研)。2020年度の研究発表会は、基準6-④に記載した通りであり、学生に対する評価は適切に行なわれている。また、2019年度より、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した学習成果の達成度を把握するため、論文のルーブリック評価を実施している。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-1 心研	ディプロマ・ポリシー(博士前期課程)【 http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma02.pdf 】			
4-2 心研	ディプロマ・ポリシー(博士後期課程)【 http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma03.pdf 】			
4-12 心研	2020年度心身科学研究科心理学専攻大学院生による研究報告会実施報告書			
4-13 心研	2020年度夏期セミナー プログラム、要旨集、審査票(大学院事務室に保存)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	B
		(2)	点検・評価結果に基づき、改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 2020年度中に2回心身科学研究科自己点検・自己評価委員会を開催した。学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した学修成果と学修成果の測定方法及び達成目標の関係表を作成した。教育課程の内容、方法等の改善については、GPA、中間発表会を開催し、適切な評価と指導を行っている。授業時間外学習の習慣化、促進等に向けた、授業時間外の学習を促す方策については、資格取得のための科目については、その科目の必要性、資格取得後にどのような世界が開けるか等を理解させること、社会人大学院生については、ICTを用いた遠隔教育による双方向講義を始めており、今後、その有用性についてフィードバックを行うこととなった。(根拠資料4-14心研)</p> <p>(2) 心身科学研究科自己点検・自己評価委員会における審議は、心身科学研究科委員会に報告、提案され、改善・向上にむけた取り組みを行っている。</p>				

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

4-14 心研 2020年度第1回心身科学研究科自己点検・自己評価委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号

長所・特色

なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号

課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号

改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。

自己評価

A

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心身科学研究科における学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針については大学院要項とウェブ上に公表されている(根拠資料5-1心研、5-2心研、5-3心研)。</p> <p>(2)心身科学研究科心理学専攻および健康科学専攻の求める学生像、および水準等は設定されており、博士前期課程のアドミッション・ポリシー(根拠資料5-1心研、5-3心研)、博士後期課程のアドミッション・ポリシー(根拠資料5-2心研、5-3心研)に公開されている。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-1心研	アドミッション・ポリシー(博士前期課程)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission02.pdf 】			
5-2心研	アドミッション・ポリシー(博士後期課程)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission03.pdf 】			
5-3心研	愛知学院大学大学院 3つのポリシー(大学院要項抜粋)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/graduate_yoko02.pdf 】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)①に記載した学生の受け入れ方針に基づいた学生募集および外国語、専修科目に関する論文試験、面接試験を課す入学者選抜方法を適切に設定し、ホームページ(根拠資料5-4心研、根拠資料5-5心研)、学生募集要項等(根拠資料5-6心研)により公開している。</p> <p>(2)心身科学研究科の入試においては、研究科長、研究科主任が入試実務に関わり、研究科会議で承認をうけた入試担当専任教員が出題、採点するなど、入学者選抜のための体制を適切に整備している。</p> <p>(3)入学者選抜については、公正を担保する為に複数の専任教員による評価を行い、その結果を研究科委員会で報告、承認をうけている。試験結果に基づき各専攻で案を作成、心身科学研究科委員会で提案し、承認を得た後、大学院委員会に提案、承認を得る。公正な入学者選抜を実施している。</p> <p>(4)入学を希望するものの中で外国人留学生の博士前期課程の入試において外国語科目の選択肢を増やす、博士後期課程の入試において外国語科目の負担を減らす、社会人については外国語が免除される入試を実施する等、特段の配慮が必要な受験生に対しては合理的な配慮がなされている(根拠資料5-5心研、根拠資料5-6心研)。</p>				

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
5-4心研	大学院出願資格 ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/examination/graduate/qualification/ 】
5-5心研	大学院入試試験科目 ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/examination/graduate/subject/ 】
5-6心研	学生募集要項

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	B
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 入学定員及び収容定員を適切に設定、在籍学生数を管理し、ウェブ上に公開している。2020年度の心身科学研究科の博士課程前期の収容定員充足率は心理学専攻77.5%、健康科学専攻25.0%で全体として60%である。一方、博士課程後期の収容定員充足率は全体で33.3%であるが、2017年度8%、2018年度17%、2019年度25%、と比較して増加傾向にある(根拠資料5-7心研、5-8心研)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-7心研	「収容定員及び在籍学生数」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/data/teiin2020.pdf 】			
5-8心研	大学基礎データ			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づき改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
2020年度はメール会議で2度心身科学研究科自己点検・自己評価委員会を開催した。学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)の各項目と、アセスメント・プランに示した各測定方法との関係の明確化、授業時間外学習の習慣化、促進等に向けた、授業時間外の学習を促す方策、設定した達成目標に向けて、教育課程の内容、方法等をどのように改善、向上、工夫していくか、について検討した(根拠資料5-9心研、5-10心研)。				
(2) 心身科学研究科自己点検・自己評価委員会における審議は、心身科学研究科委員会に報告、提案され、改善・向上にむけた取り組みを行っている。				
〔根拠資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-9心研	2020年度第1回心身科学研究科自己点検・自己評価委員会議事録			
5-10心研	2020年度第2回心身科学研究科自己点検・自己評価委員会議事録			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
③	心理学専攻の基礎系、健康科学専攻で大学院生数が少ないことが課題である。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
③	心理学専攻については2018年度から臨床心理学コースのカリキュラムを整備したところであり、博士前期課程の人数は充足している。今後、前期課程修了者の中で学業優秀な者に対し後期課程への進学を促していく。一方で基礎系の大学院生は少ないので、大学院で基礎系心理学を学ぶことの意味を伝えるなど、大学院生増加に努める。健康科学専攻については、博士前期課程のカリキュラムの中に平成26年度より精神健康科学領域を加え、平成28年度より健康栄養科学領域において栄養専修免許取得のための講義を加えるなど、新たな社会のニーズに応える専門性の高い人材に門戸を開いている。博士後期課程については学生数は増加傾向にある。今後、広報活動を含め更なる学生増加にむけて努力していく。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科の教員組織の編制に関しては、2020年3月6日付で自己点検・自己評価委員会に提出した「心身科学研究科教員組織の編成方針」により、教員組織の編制に関する方針が示されている。(根拠資料6-1心研)				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-1 心研	心身科学研究科教員組織の編制方針			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科の構成教員は、心理学専攻博士前期課程が11名、心理学専攻博士後期課程が5名、健康科学専攻博士前期課程が24名、健康科学専攻健康博士後期課程が13名であり、心理学専攻、健康科学専攻ともに博士前期課程、博士後期課程の設置基準上必要な専任教員数を満たしている。(根拠資料6-3心研)				
(2) 2020年度には博士前期課程研究補助教員 1名、研究指導教員 5名、博士後期課程研究補助教員1名、研究指導教員2名の資格審査が行われ、承認された。心身科学研究科においては多くの専門分野に対応する、実務系および基礎系の研究分野が開かれており、常に学生のニーズに対応した専門教員の組織が編制されている。				

(3) 心身科学研究科の組織編成に関しては、専門分野のコースあるいは領域別に概ね適切な数の教員が配置されている。担当教科に応じ、専門資格である臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、言語聴覚士、養護教諭、管理栄養士の資格および実務歴を有する専任教員が配置されている。専門職をもつ教員の数と職種の多様性については良好といえる。また、教員の間で負担に偏りが起こらないよう人員配置には配慮されている。また、専任教員の中の女性比率は30%に達しており良好といえる。年齢構成は40歳代～70歳代に幅広く分布する。設立後10年を過ぎ定年退職を迎える教員が新任教員に順次入れ替わりつつある。(根拠資料6-3心研)なお、大学の「求める教員像及び教員組織の編制に関する方針」に基づき、心身科学研究科の「求める教員像及び教員組織の編制に関する方針」が策定され2020年3月6日に自己点検・自己評価委員会に提出されている。

(4)

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-2 心研 授業科目・担当教員・履修方法 心身科学研究科(大学院要項抜粋)

6-3 心研 大学基礎データ

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 研究科として募集、採用は行っていませんので、昇任のみである。心身科学研究科専任教員の昇任については、心身科学部(学士課程)専任教員の中から随時資格審査を行い、専攻会議、研究科委員会、大学院委員会の承認を得ている。資格審査は愛知学院大学大学院 教員資格基準内規(根拠資料6-4心研)に従って行われている。				
(2) 教員の資格審査は愛知学院大学大学院 教員資格基準内規に従い適切に行われている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-4 心研	愛知学院大学大学院 教員資格基準内規についての確認事項			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 2020年度、心身科学研究科心理学専攻では「大学院生による研究報告会」をe-mailを用いて開催した(8/17-31)。3名の大学院生が参加し、7名の教員からコメントがあった。健康科学専攻では「夏のセミナー」をMicrosoft Teamsを用いたwebにて開催した(8/18-31)。11名の大学院生全員(修士、博士)が研究発表し、35名の参加者による討論(161回)が行われた。また、大学院生の発表に対し、指導教員1名を含む3名による評価を行なった。(根拠資料6-5心研)</p> <p>(2) 心理学専攻「大学院生による研究報告会」の今後のあり方について意見交換を行った。健康科学専攻「夏のセミナー」では、コメントから「夏のセミナー」参加者に対し匿名でのアンケートを行い、17名から回答が得られた。セミナーの満足度は4.53(5点満点)であった。次年度の夏のセミナーの形式については、web発表が良い(4名)、口頭発表が良い(1名)、webと口頭のhybrid形式が良い(9名)、無回答・その他(3名)であった。今後、より良いセミナーのあり方について研究科で話し合う予定である。(根拠資料6-5心研,6-6心研)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-5 心研	心身科学研究科委員会2020年度9月議事録			
6-6 心研	2020年度心身科学研究科FD活動報告書			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科においては、④に記載したとおり、大学院FD委員会において教員組織の適切性について定期的に点検・評価が行われている(根拠資料6-7心研)。</p> <p>(2) 大学院FD委員会における点検・評価結果については心身科学研究科委員会や心身科学研究科自己点検・自己評価委員会で報告、共有され、問題点の改善と組織の向上に向けた取り組みがなされている(根拠資料6-8心研、根拠資料6-9心研)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-7 心研	愛知学院大学大学院FD委員会議事録			
6-8 心研	2020年度第1回心身科学研究科自己点検・自己評価委員会議事録			
6-9 心研	2020年度第2回心身科学研究科自己点検・自己評価委員会議事録			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし
たうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、
記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を
記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心理学専攻では、「心理臨床センター」での臨床相談実践が、もっとも重要な社会貢献である。現在日進キャンパスのセンターにおいて、地域一般市民からこころの相談を受けている。</p> <p>(2)心理学専攻の公認心理師・臨床心理士養成コースの大学院生は、心理臨床センターにおいてケースを担当し、心理臨床について実践的に学ぶ。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-1 心研	心理臨床センター ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/organ/psychology/ 】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)愛知学院大学心身科学研究科に所属する専任教員の教育活動、研究活動、社会活動等については、年に1回発行される「心身科学研究所紀要心身科学」にて公開されるとともに、心身科学研究所のウェブ上に公開している(根拠資料9-2心研)。また、教員業績に関するデータベースシステムに登録する(年1回以上の更新)ことで、教員情報のウェブ上での公開が行われている(根拠資料9-3心研)。</p> <p>(2)これらの情報に基づき、大学院FD委員会を中心に研究科全体の社会連携・社会貢献の改善・向上への取り組みを行っているほか、大学院独自のFD活動を中心に点検・評価が行われている(根拠資料9-4心研)。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-2 心研	研究活動 心身科学研究所HP ウェブサイト【 http://instpsph.agu.ac.jp/activities/index.html 】			
9-3 心研	教員情報 ウェブサイト【 https://aris.agu.ac.jp/aiguhp/KgApp 】			
9-4 心研	愛知学院大学大学院FD委員会議事録			
9-5 心研	愛知学院大学大学院FD委員会規程			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A